

研究概要

<令和元年度研究課題>

タイトル：病原性細菌に応じて活性化する自然免疫機構の制御機序解明

異常に増殖したグラム陰性細菌はノンカノニカルインフラマソームと呼ばれる自然免疫機構を過剰に活性化し、エンドトキシンショックを引き起こすことが知られています。私たちは、ノンカノニカルインフラマソームの活性化を阻害し、マウスモデルにおいてエンドトキシンショックを緩和する生理活性脂質を同定しています。本研究では、当該生理活性脂質が阻害効果を発揮するメカニズムの解明に取り組みました。